

座 談 会 を き い て

藤 本 健 二

クリック 16 号はパソコン同好会の創立 15 周年を記念する読物として企画を始めました。前号の経験などから寄稿は多くないだろうと予想される中、是非とも忌憚のない OPC 展望に関わる自由な討論会を開催してその内容を 16 号のメインページにしようとアイデアができました。

編集をリードする者としてこの座談会に欠席するのは断腸の思いでしたが親類の葬儀があり、急遽支度をして遠い浜坂という日本海側の田舎に出向く事になりました。

☆ ☆

永田前会長の音頭で座談会は成功裏に終わりました。この度は討論を録音しようという話になっていてそれを実行してくださったのが影山さんでした。ボイスレコーダーで MP3 形式での録音でした。さっそく長時間の MP3 形式の録音をメール添付の形で送ってもらい、これをまた自分のボイスレコーダにダビングして何度も聴きなおしてみました。

座談会は臨場感あふれる録音記録でした。この類のレコーダを私は 10 年以上も前から使っているいろいろ応用してきました。ほぼ毎日利用しています。今回座

談会の録音をすぐに聞くことができたのはボイスレコーダーという装置とメールの添付という機能を利用してできました。直接会って受け渡しをすとか録音物を送るとかいう手間がなく、またことさらの費用をかけずに実行できました。

さて、なぜこの様なことを申したかと言えば理由があります。今後の OPC の展開に関わる意見を申し上げるのに二つの事柄を考えてみたいのです。

1) 会員の皆様もだれも忙しく活動されている。いろいろ用事が発生する。それで時間の工面ができないときが多々発生するのでいつも OPC 活動に参加できるわけではない。時間がたっぷりあるという方もいればそれほど時間をかけることができない状況にいる方もおられる。これは会の運営について考慮しておく必要があるという事です。何事においても一人に任せておくのは都合が悪いと思います。

2) ボイスレコーダーという装置はパソコンと関連性がないという事はありません。立派な周辺装置なのです。外部で録音したものを PC 利用して編集してファイルとして送信するのも PC 経由のメール機能の活用です。旅行の



楽しみとしてデジタルカメラで写真を撮影してそれを編集するのも

PC活用であり写真とPCは切っても切れない仲です。

座談会でのすべての意見は重要な発言でした。考えてみたいのは、むかしPCに立ち向かった頃とはPC自体が進化したという事実。つまりハードをほとんど気にせずに操作できるという事があります。

そしてこれも重要なことで、学ぶ人が異なるという事実です。言い換えると学ぶ対象が異なるという事実です。以前は何でもかんでもPC関連は目新しく学ぶことだけでも夢中になる夢のような装置でした。ところが現在では操作を学ぶだけではひとつも面白くない、と感じる人が大多数だと思います。そしてそれこそが考えなければならない事で、PCを活用して一層楽しく暮らしたいという方々の会にしていくのがOPCの今後の進化につながるのではないか、と思うのです。

具体的に考えてみます。OPC例会に代わるものとして又は別に部を設ける。ダンス部、俳句部、写真部、民謡部、踊り部、料理部、自彊術部等趣味の観点からいくらかもあると思います。そして、その趣味活動を録音する、撮影

する、録画する、文章にする、試食する、ネットで公開する。ぜんぶPCに関係します。関係させてこそパソコンの同好会です。我がOPCの大発展は皆様の楽しみを増やし健康を増すような同好会に大変身させてこそ実現できるのではないのでしょうか。もちろん少しずつの前進を考えてみたいものですがパソコン操作重視はもう終わりにしたいと思える、その様な時代です。パソコンを学ぶだけではなく趣味を生かすための道具として使う時代と思います。

☆ ☆

さらにもう一つ考えます。例会と何でも相談の関係を取り上げます。

何でも相談というのは実に便利な教室でほぼ個人指導となります。そしてそれこそがパソコン操作を学ぶ絶好の機会です。教わり学ぶという概念に合う場所となっています。

例会を少なくして何でも相談に重点をおくのが良いのではないかと考えています。そして何でも相談も例会もはやく講習会に進化させるのがよいと考えています。OPCの発展につながります。

具体的には、会のメンバーは無料で会員でない方には一回当たり例えば500円の受講料で講習会を開く。常に講習会を開く。毎週でも開く講習会があればとても便利です。講習内容については検討せねばなりません。講習会

を例会に替えるのが好ましいと思えるのです。換言すると例会の形を講習の形にして会員以外も常時受け容れる、その様な形にしてはいかがでしょうか。

今回は、熱い座談会の雰囲気感激し皆様のアイデアを頂戴して、私流に OPC の新たな形を考えてみました。

座談会での出席者全員のご発言を何度も繰り返し聞きました。実に積極的に OPC の発展に期待する方々が多いのに喜びました。一人取り上げます。お絵かきソフトが大好きな橘さんです。



橘さんはペイントというだれも活用しないソフトを研究して皆さんに訴えておられます。ペイントこそが PC 操作を学ぶのに最適だと。絵を描くのが趣味だからこそ彼女は我々のことを思ってウインドウズ標準のソフトを使ってみましょうと提案されています。

お絵かきソフトの話をする彼女の情熱的な姿勢に私は感激しました。また一人 PC を活用して人生を楽しんでお

られる方を知って本当にうれしく思います。

今年一度 PC で描く方法を講義の形で手ほどきをお願いしましたところ引き受けてくださいました。そして後で伺いましたら、とても満足されていて自信を深めているのを知りました。

☆ ☆

人材不足がとやかく言われています。が、まだ断言することは早すぎます。私はいままで行ってきたワード例会に深く反省しています。今後は自信をもって人前で説明したり活用の楽しさを実感するように、例会での学び方を変えていきたいと思います。人材はいると思います。控え目な方でしっかり学んでおられる方がいます。人をいかすような OPC に変えていくのをひとつの検討課題に提起したいと思います。

人が育つような環境にないと人材は育たないし環境が整っていないと育っても発掘されない。

平成 25 年 11 月 27 日



(写真はクリック 16 号を手掛けた委員の編集会議の場面です)